

台原中学校における登校に不安や悩みがある生徒・保護者への支援について

(令和6年7月16日 台原中学校長)

台原中学校では、「不登校というだけで問題行動であると受け取られないよう配慮すること」を前提に、全校生徒に「社会的な自立に向けた支援」を実施するに当たって、全ての生徒に学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えることを目指し、以下の内容に取り組めます。

- 1 登校することに不安や悩みがある生徒に寄り添い、また、保護者の皆様と協力し、教育相談や学びの継続、校内の居場所づくりに努めるとともに、学校以外の学びの場とも連携し、支援を行います。
- 2 生徒や保護者で不安や悩みを感じている際は、教員（学級担任に限りません）のほか、校長・教頭、養護教諭、スクールカウンセラーなどが相談支援を行います。連絡アプリ（まなびポケット）や連絡帳、お手紙でも構いません。ご希望に応じて、お話のしやすい場所や時間、学校の出席者を調整します。
- 3 相談について、次のような準備をしています。
 - ◆学校で行う生徒との教育相談：毎年12月に生徒対象の面談、7月と2月に保護者対象の面談を予定していますが、それ以外の日でも相談することができますので、いつでもご相談ください。
 - ◆スクールカウンセラー：毎週月曜日に来ています。相談時間の予約が必要です。予約は直接ご連絡（022-234-3294）しても、学級担任への相談していただくこともできます。
 - ◆教職員の研修：不安や悩みを抱える生徒の理解や相談能力の向上を図っています。また、学校で行うことができる支援策や学校以外の場での支援内容などの情報をいつでも提供できるように備えています。
 - ◆教職員間の情報共有：生徒が抱える不安や悩みの状況を関係する教職員の間で共有し、的確な支援が行えるようにしています。
 - ◆生活アンケートの実施：毎年5月、7月、9月、11月、1月の計5回、生徒が楽しく学校生活をおくれているか、アンケートを実施しています。心配される記述がある場合には、担任より詳細の聴き取りを行っています。
- 4 支援について、次のような準備をしています。
 - ◆在籍学級以外の居場所：在籍学級に入りにくさを感じている場合の居場所として、ステーションを用意しています。ステーションでは、ステーション専任の教員が在室し、学習支援や保護者への連絡などの対応を行います。
 - ◆オンラインでの学習参加等：学習用端末（クロームブック）や自宅のパソコンなどを通じて、オンラインで授業や学級活動に参加したり、その様子を見たりすることができます。
 - ◆学習補充のための課題：長期休業前に、学期ごとの教科別課題という自宅で取り組むことができる課題を各学年で用意しています。
- 5 生徒が安心して学ぶことができるように、学校外施設とも連携しながら、支援を行います。主な学校外施設は「仙台市教育支援センター」のWebページにまとめてあります。教育支援センターのアドレスは以下のとおりです。
(「教育支援センター」 <https://sites.google.com/g.sendai-c.ed.jp/jiyu>)

台原中学校は、これからも、教職員が一丸となって、登校に悩みがある生徒が安心して学べる場所を工夫・提供してまいります。ご相談は、台原中学校職員室（022-234-3245）までお願いします。